

【西米良村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及びクラウドを活用して児童生徒自身が学びを自己調整し、個別最適かつ協働的に学ぶことで、主体的・対話的で深い学びが実現した姿。

2. GIGA 第1期の総括

本村では、情報化推進に平成24年度より取り組んでおり、GIGA第1期では、1人2台体制にして活用促進してきた。これまで環境整備に力を入れ、電子黒板の整備、ネットワークの構築、端末整備を行ってきた。

令和4年度からは学校と家庭をつないだ学習の促進、クラウドを活用した学びを充実させた。令和6年度からは、協働的な学び・個別最適な学びの充実を図るために、複線型の学びを推進し、教職員一丸となって子供たちの学びの充実、情報活用能力の育成を図ってきた。

GIGA第2期では継続して ICT 活用を進めるとともに、ICT 活用ありきでない日常遣いにしていく予定である。

3. 1人1台端末の利活用方策

十分な予備機を含め、端末を適切に更新し、1人1台端末環境を引き続き維持することを前提とし、以下のように利活用していく。

(1)「1人1台端末の積極的活用」

授業や家庭学習、学校・家庭間の連絡等、様々な場面での1人1台端末活用を進める。

(2)「個別最適・協働的な学びの充実」

端末を利活用した学習課題への取組により、理解度や学習速度に合わせた個別最適な学びを進める。複線型の学びを推進しながら、適切に端末の活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

(3)「学びの保障」

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対して、その実態に応じて端末を活用した支援を実施する。